



SUPPRESS

Suppress Is An Innovative New Type Of Lotion
That Has Never Been Experienced Before.

PROCESS GUIDE

サプレス プロセスガイド

BASIC PROCESS.

| ベーシックプロセス

うねるクセと広がるダメージのケアに最適

1 カウンセリング



髪質やダメージの状態、クセの種類などに加え髪のお悩みを確認します。
 カウンセリング結果のお悩みに合わせて使用する薬液を選定します。
 ※折り込み中面の薬液対応目安を確認してください。

2 プレシャンプー



毛髪の汚れなどを取り除きます。



3 前処理



ダメージがある毛先や乾燥している部分などを中心にファイラメで処理します。
 ※毛先中心に塗布し、その後シャンプーボールにお湯をためてチェンジリンスで全体に行き渡らせます。



4 薬液塗布



1で選定した薬液を適量塗布します。
 ※コーミングでしっかり全体に行き渡らせてください。
 ※タオルドライ程度のウェット状態で塗布してください。



5 放置



【自然放置の場合】ラップをして、20～25分放置
 【加温放置の場合】ラップをして、10～15分放置
 ※どの場合でも、乾燥しないようにしてください。

6 プレーンリンス



しっかりと薬液を洗い流した後、シャンプー、トリートメントをしてください。
 ※流しが足りない場合、臭いが残ることがあります。
 ※推奨アイテム：CENO シリーズ



7 ブロードライ



ブラシを使用しテンションをかけながらブロードライします。
 ※この時点で、お客様に確認していただき仕上がり状態をお伝えください。

8 アイロン

クセが強い場合や髪の状態が強い場合（太毛、硬毛）、1cmを目安にアイロン操作を行ってください。
 （縮毛矯正のアイロン操作イメージ）
 クセがほとんど無い場合、厚めのスライスでアイロン操作を行ってください。
 （スタイリングのアイロン操作イメージ）
 ※アイロン温度の目安（おさまり重視=180°C、質感重視=160°C）



注意点

※カラーが褪色する場合があります。 ※薬液塗布時、放置時間中に髪の水分がなくなると臭いが残ることがあります。

COLOR PLUS PROCESS.

| プラスカラープロセス

カラーとのセット施術で質感をプラス

1 カウンセリング



髪質やダメージの状態、クセの種類などに加え髪のお悩みを確認します。カウンセリング結果のお悩みに合わせて使用する薬液を選定します。
※折り込み中面の薬液対応目安を確認してください。※カラーとの組み合わせは、ケラクリとグリクリまたはレブクリとのミックスがおススメです。

2 プレシャンプー



毛髪の汚れなどを取り除きます。



3 前処理



ダメージがある毛先や乾燥している部分などを中心にファイラメで処理します。
(毛先中心に塗布し、その後シャンプーボールにお湯をためてチェンジリンスで全体に行き渡らせてます。)



4 薬液塗布



1で選定した薬液を適量塗布します。
※コーミングでしっかり全体に行き渡らせてください。※タオルドライ程度のウェット状態で塗布してください。



5 放置



【自然放置の場合】ラップをして、20～25分放置
【加温放置の場合】ラップをして、10～15分放置
※どの場合でも、乾燥しないようにしてください。

6 プレーンリンス



しっかりと薬液を洗い流した後、シャンプー、トリートメントをしてください。
※流し足りない場合、臭いが残ることがあります。※推奨アイテム：CENO シリーズ



7 カラープロセス



□グリクリ単品
【トーンダウンの場合】水分量：しっかりとタオルドライ状態。使用薬液：通常の薬液選定より1トーン低め設定を使用してください。
【トーンアップの場合】水分量：ハーフドライ状態。使用薬液：通常の薬液選定より1トーン～2トーン高め設定を使用してください。
□レブクリ単品、ケラクリミックス
普段通りのカラー剤を選定してください。カラー剤の使用方法に合わせて薬液を放置してください。

8 シャンプー、トリートメント



9 ブロードライ



ブラシを使用しテンションをかけながらブロードライします。
※この時点で、お客様に確認していただき仕上がり状態をお伝えください。

10 アイロン

クセが強い場合や髪の状態が強い場合(太毛、硬毛)、1cmを目安にアイロン操作を行ってください。(縮毛矯正のアイロン操作イメージ)
クセがほとんど無い場合、厚めのスライスでアイロン操作を行ってください。(スタイリングのアイロン操作イメージ)
※アイロン温度の目安(おさまり重視=180°C、質感重視=160°C)

STRAIGHT PLUS PROCESS.

| ストレートプラスプロセス

髪への負担を最小限にクセの悩みを解消

① カウンセリング



髪質やダメージの状態、クセの種類などに加え髪のお悩みを確認します。カウンセリング結果のお悩みに合わせて使用する薬液を選定します。
※ストレートパーマを施術する部分、サブレスでケアを行う部分それぞれで薬液選定してください。
※折り込み中面の薬液対応目安を確認してください。

② プレシャンプー



毛髪の汚れなどを取り除きます。



③ 前処理



ダメージがある毛先や乾燥している部分などを中心にファイラメで処理します。
(毛先中心に塗布し、その後シャンプーボールにお湯をためてチェンジリンスで全体に行き渡らせませす。)



④ 薬液塗布



根元の新生部分には、ストレートパーマ薬液を塗布します。
既ストレートパーマ部分の若干のウェーブバックなどがある部分にサブレスを塗布します。
※ストレートパーマの薬液とサブレスは、出来るだけオーバーラップしないようにしてください。



⑤ 放置タイム



使用するストレートパーマ薬液の規定タイムで放置します。
※加温などは、使用するストレートパーマ薬液に合わせて行ってください。

⑥ プレーンリンス



しっかりと薬液を洗い流した後、シャンプー、トリートメントをしてください。
ストレートパーマ部分に必要な場合、中間処理を行ってください。
※流しが足りない場合、臭いが残ることがあります。※推奨アイテム：CENO シリーズ



⑦ ドライ、アイロン



【新生部】ドライ：使用する薬剤に合わせたドライ状態にします。アイロン：毛髪の状態に合わせ温度設定します。

【既ストレート部分】ドライ：テンションをかけてブロードドライします。

アイロン：クセが強い場合や髪の状態が強い場合（太毛、硬毛）、1cmを目安に

アイロン操作を行ってください。（縮毛矯正のアイロン操作イメージ）

クセがほとんど無い場合、厚めのスライスでアイロン操作を行ってください。

（スタイリングのアイロン操作イメージ）

※アイロン温度の目安（おさまり重視=180℃、質感重視=160℃）



⑧ 2液塗布・放置タイム




2液を全体に塗布し規定のタイム放置します。


⑨ プレーンリンス、トリートメント




⑩ ブロードドライ、アイロン

ブロードドライで整え、アイロンスルーで完全に水分を飛ばします。

Gly Cream (グリクリ)		アルデヒドで伸ばす、ハリ感アップアイテム
	グリオキシル酸アイテム グリオキシル酸をベースにマレイン酸ポリマーを組み合わせた、酸熱トリートメントです。単品で使うことがメインですが、ケラクリのpH調整など熱を使う場面で効果を発揮します。分子内のアルデヒドが強力に酸化されることで、還元作用を発揮します。	
	対象毛	<input type="checkbox"/> ストレートヘアのリペア <input type="checkbox"/> 弱いクセやうねりのある髪の補正または調整 <input type="checkbox"/> 細い髪やエイジング毛のハリ感アップ <input type="checkbox"/> ストレートをする程ではないが、ある程度のストレート感が欲しい髪

Lev Cream (レブクリ)		ラクトンで抑える、ツヤ感アップアイテム
	レブリン酸アイテム グリオキシル酸より伸び感は少ないですが、ツヤや柔らかさが出る、カラー毛の色落ちも少ないなどグリオキシル酸の弱点を補える酸熱トリートメントです。単品で使うことがメインですが、ケラクリのpH調整など熱を使う場面で効果を発揮します。熱により分子内にラクトン構造ができることで、毛髪に対してツヤなどの付加価値が生まれると考えています。	
	対象毛	<input type="checkbox"/> ダメージヘアのツヤ感と柔らかさアップ <input type="checkbox"/> ストレートヘアのリペア <input type="checkbox"/> カラーヘアの質感チェンジ <input type="checkbox"/> ストレート感より、ツヤや柔らかさが欲しい髪

Ker Cream (ケラクリ)		ケラチンで伸ばす、やわらか仕上げアイテム
	CBCケラチン酸アイテム CBCケラチンをベースにサルファイトを組み合わせた、新しい形の酸熱トリートメントです。単品で使う、pH調整して使う、ストレート時の処理剤として使う、熱を使う様々な場面で効果を発揮する熱反応型ケラチン製品です。	
	対象毛	<input type="checkbox"/> 硬い髪の質感チェンジ <input type="checkbox"/> 還元剤によるケミカルダメージの補修 <input type="checkbox"/> エイジング毛の補強 <input type="checkbox"/> 毛髪の補修をしながらストレート感を出したい髪

SUPPRESS TABLE

薬液対応目安

使用薬液	 グリクリ	 レブクリ	※  ケラクリ + グリクリ	※  ケラクリ + レブクリ
質感、効果	適度なハリ・コン感を与え、おさまりがよい扱いやすい髪にします。	なめらかな柔らかさを与え、ツヤのある落ち着き、まとまりの良い髪にします。	毛髪内部と外部のダメージケアを行いながら、おさまりのよい扱いやすい状態を持続できます。	毛髪内部と外部のダメージケアを行いながら、なめらかなまとまりの良い状態を持続させます。
向いている髪質	細毛軟毛、水素結合によるクセが出る方	太毛硬毛、クセはないが広がりやすい方	ストレートパーマをするほどではないが、クセがあり収まり難い。クセの悩みと合わせてダメージケアを求める方	太毛硬毛で、落ち着きにくい毛髪。髪に柔軟性を与えながら、ダメージケアを求める方

使用上の注意

- ケラクリとグリクリまたはレブクリの混合比率は、10：1を限度としてください。
- ケラクリは、混合したとき pH4.0 以下にならないようにしてください。
- ケラクリは急激に酸性に傾いた場合、ガスが発生する恐れがありますので適切な割合で混合してください。
- 酸やタンパク質で処理するため、髪質によって一時的に臭いが残ることがあります。
- 他社製のグリオキシル酸やレブリン酸製品、また、スピエラ、GMT を絶対に混ぜないでください。
- 弊社が推奨する製品以外とは、混ぜないでください。推奨する製品であっても、混合割合は必ず守ってください。
- ヘアカラーが褪色することがあります。
- パーマヘアに施術した場合、パーマ（ウェーブ）が落ちる恐れがあります。
- ストレート感を出すために過剰なアイロン操作をすると、毛髪がダメージすることがあります。
- 施術後5時間は、シャンプー及び髪を水で濡らす行為はお控えください。
- 手指に傷などがあるとしみる場合がありますので、手袋を着用してください。
- お客さまの耳を、イヤークラップなどで保護してください。
- 使用後は十分に手を洗い薬液を洗い流してください。
- 傷やはれもの、湿疹等異常のある時は使用しないでください。
- 次に該当する方は、使用しないでください。
 - ①頭皮・顔・首筋・手等に傷・はれものや皮膚病のある方
 - ②生理時・生理日の前後及び産前産後の方
 - ③病中・病後の回復期にある方、その他身体に異常がある方
 - ④脱毛症にかかっている方
 - ⑤特異体質の方、又は過去に髪用製品でかぶれ等のアレルギー症状を起こした事のある方
 - ⑥熱を使う施術のため、毛髪が著しく傷んでいる方は、使用方法を誤ると毛髪を傷めたり、
処理後の毛髪形状にも悪影響を与えます。必ず使用方法、使用上の注意事項をよく読んで正しくお使いください。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 極端に高温または低温の場所、直射日光のあたる場所には保管しないでください。
- 頭髪以外には使用しないでください。
- 目に入ったときは、直ちに洗い流してください。
- 本品は高度な理美容技術が必要とする製品です。理容師・美容師の方以外は使用しないでください。